

愛媛県立川之江高等学校 令和7年度 シラバス

教 科	外国語	科 目	英語コミュニケーション I
単 位 数	3 単位	学年・類型	第1 学年・全クラス
使用教科書	Power On English Communication I (東京書籍)		
補助教材等			

1 学習目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして、話し手や書き手の意図や概要・要点を把握することができるようにします。その上で、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを口頭で伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができるようにします。

2 学習方法

- 会話や説明における話し手や書き手の意図や要点を聞き取ったり読み取ったりする練習をします。
- 基本的な語句や文法について理解し、それを用いて話し合いや口頭・文章での発表を行う練習をします。
- 特に教科書の英文について内容、文構造、重要表現を理解し、音読を繰り返すことによって英語での反射神経を鍛えます。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めているか。 ・実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取り組み状況 ○パフォーマンステストの成績
思考・判断・表現		・英語で情報や考え、気持ちなどの概要や要点、意図などを的確に把握し、これらを活用して適切に表現したり伝え合うことができるか。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取り組み状況 ○パフォーマンステストの成績
主体的に学習に取り組む態度		・背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	○言語活動への取り組み状況 ○課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業での学習活動、コミュニケーション活動に取り組む態度、課題の提出状況、定期考査・小テスト・パフォーマンステストの成績などを総合して行い、知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点を、それぞれA、B、Cの3段階で評価します。学年末の評価は各学期の成績を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと理解し、練習や復習を通して定着させていきましょう。
- 言語活動では間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- 音読力を伸ばすことが、リスニング力やスピーキング力を伸ばすことに直結します。しっかり取り組みましょう。
- 授業以外でも、NHKラジオ講座等を活用して、毎日少しずつ継続して英語力の向上に努めましょう。

5 学習計画 (予定)

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	Pre-Lesson 1~5	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と異なる英語の語順、文構造等について確認します。
5	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> 過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> 光る生き物やその光の医療研究への利用について、受け身、現在完了形、現在完了進行形等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
6	Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクライマーの野口選手や好きなスポーツ選手について、動名詞、不定詞、S+V+0[that 節]等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
7	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、後置修飾の現在分詞・過去分詞、比較級・最上級等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
8		
9	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> バナナペーパーやそのプロジェクトについて、関係代名詞(主格、目的格)、S+seem+to 不定詞等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
10	Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V[be 動詞以外]+C、S+V+0+C[形容詞]等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
11	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックごみによる海洋汚染やごみの削減について、関係副詞 where・when、関係代名詞 what 等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
12	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> フィッシュ・アンド・チップスの歴史や食料資源について、現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
1	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> e スポーツの現状、利点や欠点について、S+V+0+C[現在分詞、原形不定詞]、S+V[使役動詞]+0+C[原形不定詞]、S+V+0+0[if などの節]等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
2	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> 写真家ヨシダナギさんの経験、過去と現在について、wish+仮定法過去の節、仮定法過去の as if 節、仮定法過去の if 節等の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。
3	Optional Reading	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの野球選手が抱いたイチロー選手への畏敬の気持ちについて、文と文、段落と段落のつながりを示す語句の理解を基に、情報や意図を捉えたり、発信することができるようにします。